

財務省・税関における取組状況

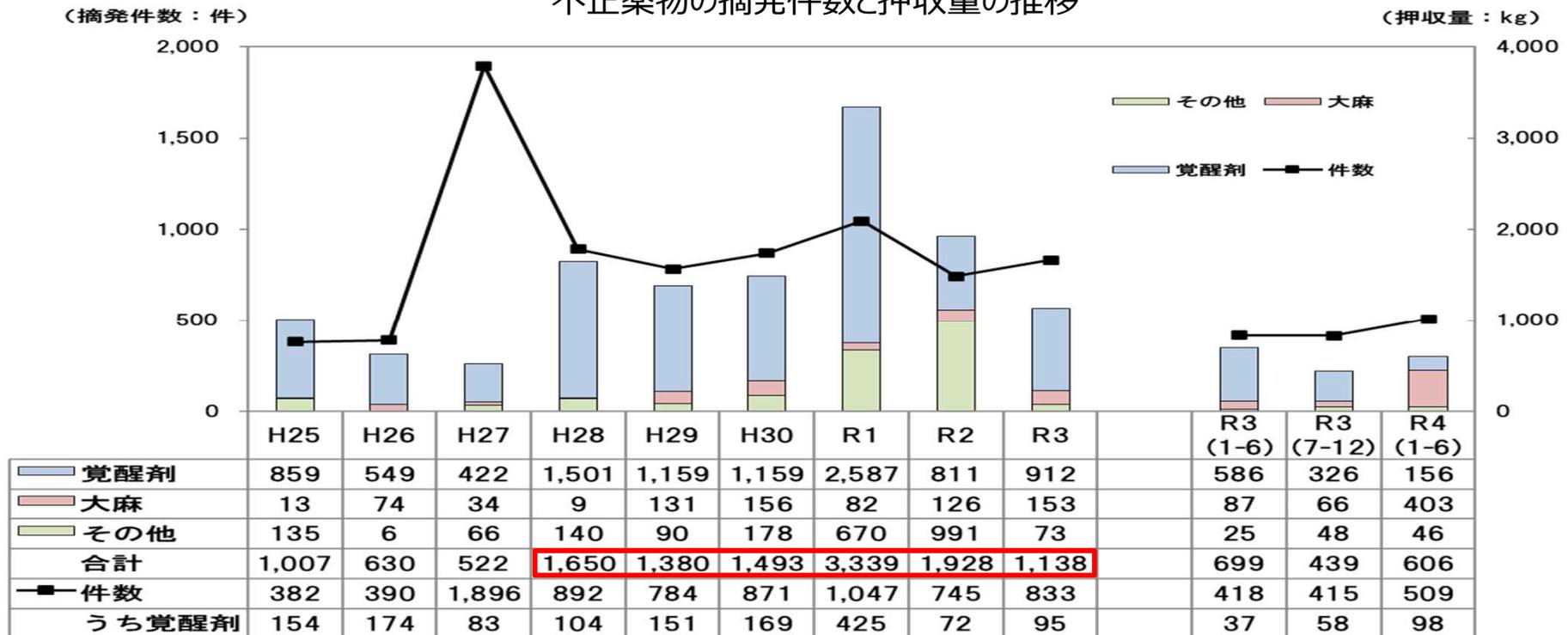
財務省関税局

2022年10月

不正薬物の摘発状況

- 令和3年における不正薬物の押収量は、6年連続で1トン超え。
覚醒剤の摘発件数は95件（前年同期比32%増）、押収量は約912kg（同12%増）と共に増加。
（参考1）押収した覚醒剤は、薬物乱用者の通常使用量で約3,040万回分、末端価格にして約547億円に相当。
大麻樹脂等（大麻リキッドを含む）及びMDMAの押収量が増加。
（参考2）大麻樹脂等の押収量 R1：21kg、R2：76kg、R3：132kg
（参考3）MDMAの押収量 R1：6.1万錠、R2：9万錠、R3：12.7万錠
- 令和4年上半期（1～6月）における不正薬物の摘発件数は増加し、押収量は減少した。

不正薬物の摘発件数と押収量の推移



(注) その他とは、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。
令和3年、4年は速報値。

不正薬物の摘発状況

種類	年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年			令和4年	前年同期比
						(1-6月)	(7-12月)	(1-6月)	
覚醒剤	件	169	425	72	95	37	58	98	265%
	kg	1,159	2,587	811	912	586	326	156	27%
大麻	件	218	242	204	199	121	78	79	65%
	kg	156	82	126	153	87	66	403	463%
大麻草	件	128	110	86	94	61	33	29	48%
	kg	143	61	49	22	12	9	309	25.0倍
大麻樹脂等	件	90	132	118	105	60	45	50	83%
	kg	13	21	76	132	75	57	94	126%
麻薬	件	225	209	167	230	115	115	102	89%
	kg	161	656	822	51	16	36	35	221%
	千錠	32	61	90	130	87	44	68	78%
コカイン	件	58	52	27	34	11	23	10	91%
	kg	153	638	820	14	4	10	11	270%
MDMA等	件	59	67	74	81	37	44	40	108%
	kg	5	0	2	27	8	18	6	74%
	千錠	32	61	90	127	86	41	67	78%
ヘロイン	件	8	5	2	-	-	-	-	-
	kg	1	17	0	-	-	-	-	-
その他麻薬	件	100	85	64	115	67	48	52	78%
	kg	2	0	1	11	3	7	18	525%
	千錠	1	0	0	3	0	3	0	38%
向精神薬	件	38	6	2	6	2	4	11	550%
	kg	0	-	-	0	-	0	0	全増
	千錠	26	0	1	1	0	1	1	822%
あへん	件	-	-	-	1	-	1	-	-
	kg	-	-	-	4	-	4	-	-
指定薬物	件	221	165	300	302	143	159	219	153%
	kg	17	14	169	17	10	8	11	119%
合計	件	871	1,047	745	833	418	415	509	122%
	kg	1,493	3,339	1,928	1,138	699	439	606	87%
	千錠	58	61	91	132	87	45	69	79%
(参考) 使用回数	万回	4,427	10,957	5,530	3,237	2,054	1,183	721	35%

- (注) 1. 税関が摘発した密輸入事件の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。
 2. 端数処理のため数字が合わないことがある。
 3. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
 4. 令和3年、4年の数値は速報値である。

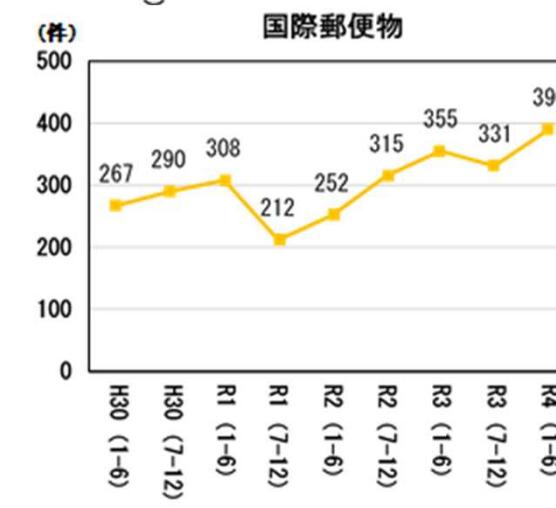
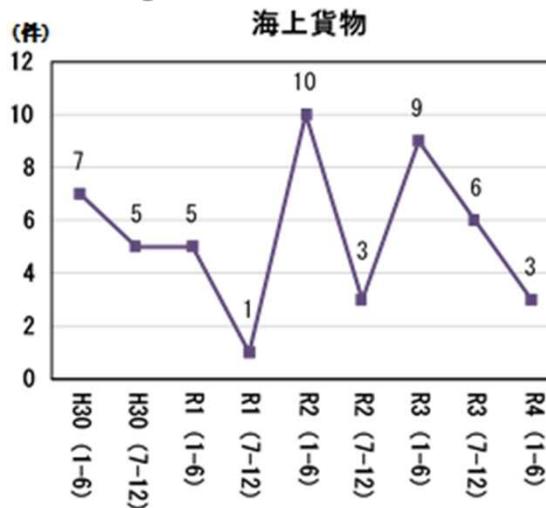
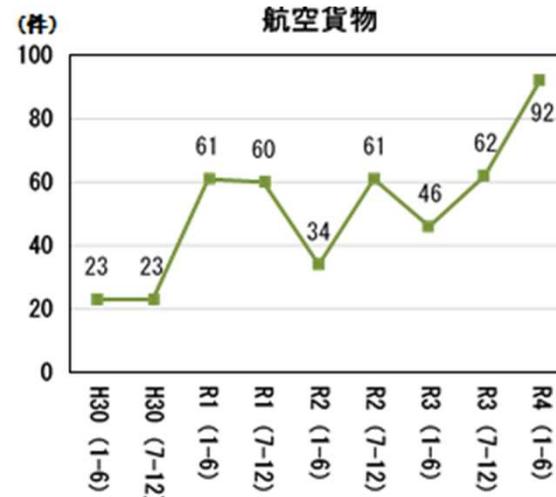
令和4年上半期の不正薬物のトピックス

➤ 航空貨物・国際郵便物からの不正薬物摘発件数が増加。

令和4年上半期の航空貨物・国際郵便物の不正薬物摘発件数は、航空貨物が92件（前年同期比2倍）、国際郵便物が390件（同比10%増）となり、**不正薬物全体の摘発件数の約9割を占めた。**

不正薬物摘発件数の推移

（航空機旅客・商業貨物(航空・海上)・国際郵便物)



(事例1) 国際郵便物

ベトナムから到着した国際郵便物（お茶の袋）に隠匿された**覚醒剤 約1kg**を摘発した。

（令和4年4月・東京税関）



(事例2) 航空貨物

カナダから到着した航空貨物（ガラス製容器）に隠匿された**大麻リキッド 約3kg**を摘発した。

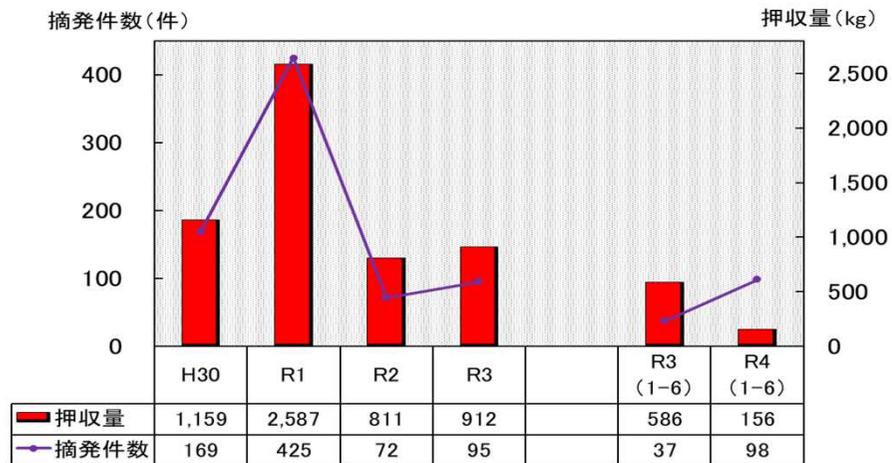
（令和4年5月・東京税関）



覚醒剤、大麻、麻薬、指定薬物の摘発実績

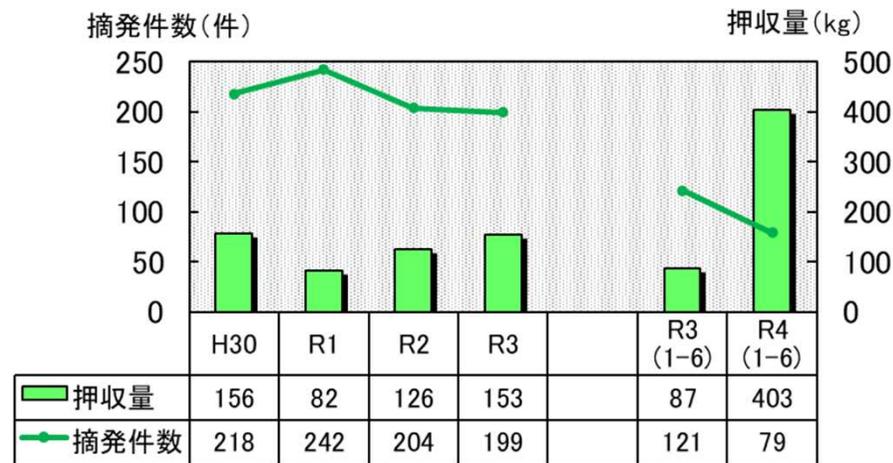
【覚醒剤】

☆ 令和4年上半期の摘発件数は98件（前年同期比約2.7倍）、押収量は約156kg（同73%減）と、**件数は増加し、押収量は減少**



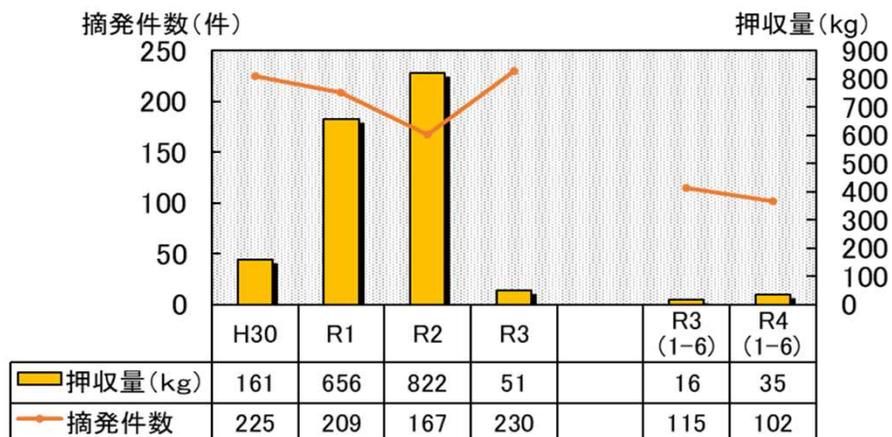
【大麻】

☆ 令和4年上半期の摘発件数は79件（前年同期比35%減）、押収量は約403kg（同363%増）と、**件数は減少し、押収量は増加**



【麻薬】

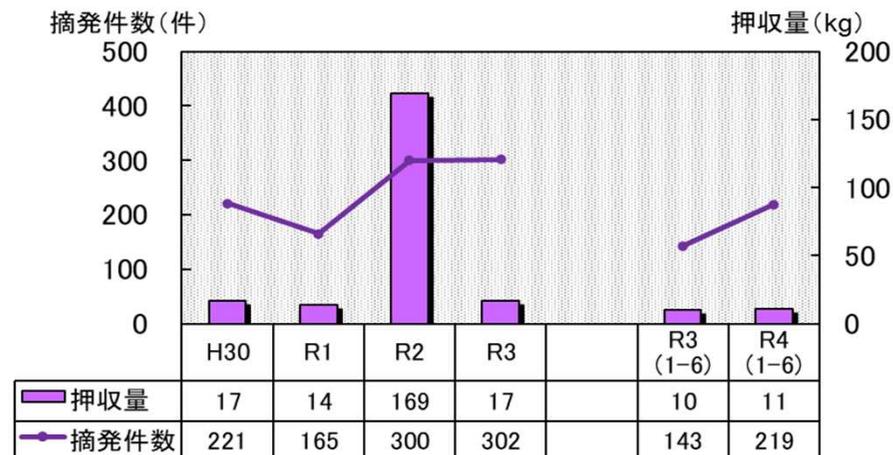
☆ 令和4年上半期の摘発件数は102件（前年同期比11%減）、押収量は約35kg（同121%増）と、**件数は減少し、押収量は増加**



(注) 令和2年は、コカインで過去最高の押収量となる約722kgの大口密輸事件の摘発があった。

【指定薬物】

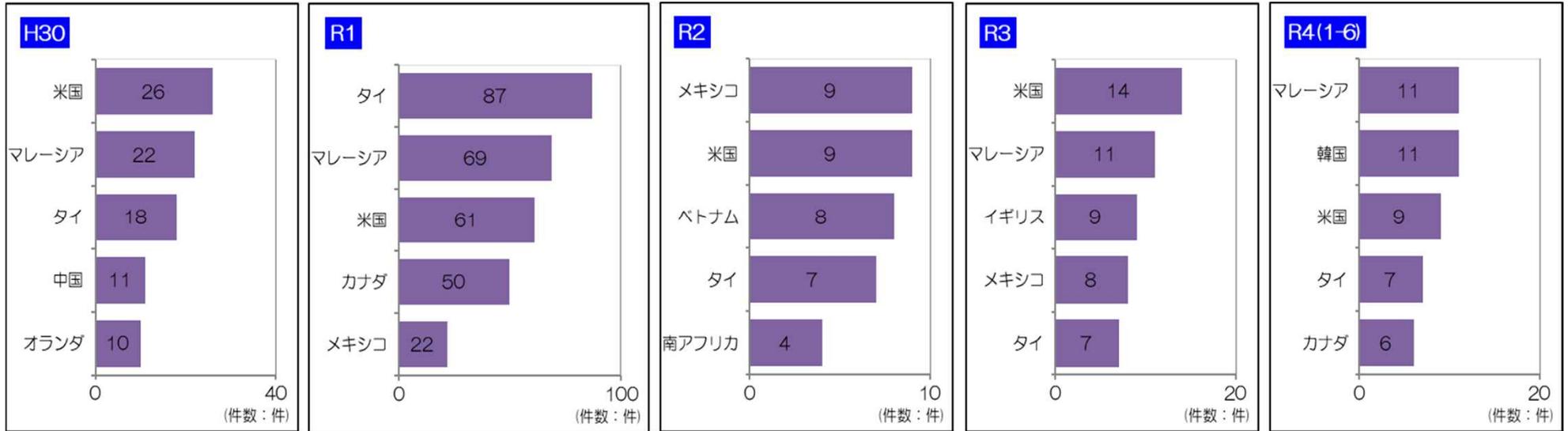
☆ 令和4年上半期の摘発件数は219件（前年同期比53%増）、押収量は約11kg（同19%増）と、**共に増加**



(注) 令和2年は、指定薬物である一酸化二窒素を含有するガス(シバガス)約156kgの大量摘発があった。

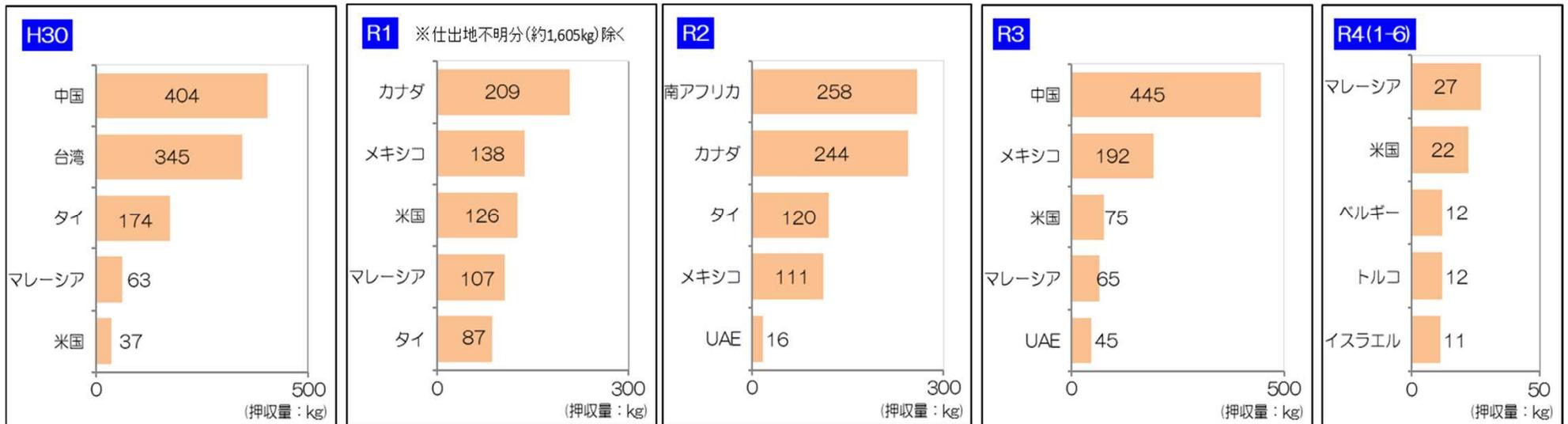
覚醒剤の密輸仕出地

仕出地別摘発件数の推移（上位5ヶ国）



(注) 第5位が複数の場合は、押収量が最も多い国・地域を記載。

仕出地別押収量の推移（上位5ヶ国）



(注1) 端数処理の結果、同数である場合は、実数で比較。(注2) 仕出地域判明分のみで作成。

令和4年上半期の不正薬物の主な摘発事例

(事例3)航空貨物

マレーシアから到着した航空貨物（コーヒー袋・乾燥剤）に隠匿された **覚醒剤 約2kg** を摘発した。

（令和4年5月・大阪税関）



(事例4)航空貨物

アメリカから到着した航空貨物（レコードプレイヤー）に隠匿された **大麻成分を含有する固形物 約8kg** を摘発した。

（令和4年2月・東京税関）



(事例5)国際郵便物

ドイツから到着した国際郵便物（ナッツの袋等）に隠匿された **MDMA 約2千錠** を摘発した。

（令和4年1月、2月・横浜税関）



(事例6)国際郵便物

台湾から到着した国際郵便物に隠匿された **指定薬物4本** を摘発した。

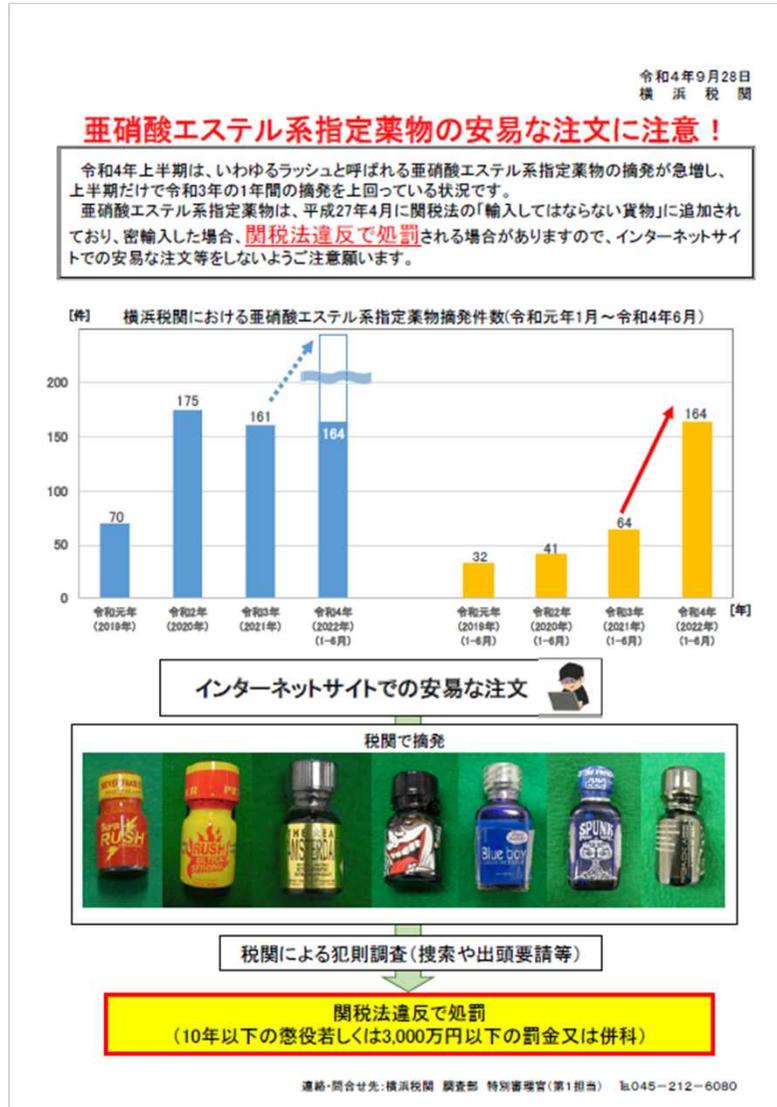
（令和4年1月・東京税関等）



広報活動

○啓発活動

税関において、摘発が急増する指定薬物に関する注意喚起を実施。



○税関関連コンテンツの作成

運上所から税関へ改称され150周年を迎えるにあたり、税関行政の理解を深めるため関連コンテンツを作成。

税関関連コンテンツ

150 関税局・税関

●150周年特設サイト
税関の150年のあゆみを分かりやすく紹介
各税関のあゆみも詳しく紹介
イベント情報の更新
← 税関HP特設サイトへ遷移
<https://www.customs.go.jp/teikan/project/150kinen.htm>

●150周年記念動画
税関150年の歴史を写真で振り返ります
世界の動きと共に税関も変化し続けてきました。
← Youtube150周年動画ページへ遷移
<https://www.youtube.com/watch?v=UjDq2A5BuV8&t=32s>

Twitter
https://twitter.com/Custom_kan
税関クイズ
カスタム着目表
イベント告知

YouTube
https://www.youtube.com/channel/UCwncio7c_zinuDsluLzYow
税関チャンネル

Facebook
<https://ja-jp.facebook.com/Japan.Customs>

最先端技術の導入

不正薬物等に対する厳格な検査と迅速な通関を両立するため、税関検査等において最先端技術を積極的に導入。

◎ 税関検査場電子申告ゲート（Eゲート）



- ITを活用し、旅客の通関を自動化
 - 携帯品等申告書は、電子的提出が可能
 - 検査においても、事前情報等を活用
 - 顔認証による本人確認の実施
- 全国7空港（成田、羽田、関西、中部、福岡、新千歳、那覇）に配備済

◎ X線CTスキャン検査装置



- 自動識別・画像解析機能を搭載
- 要注意貨物（携帯品）を悉皆的・効率的に検査

◎ 国際郵便物税関検査装置



- コンベア上にX線検査装置を配置し、X線検査を機械化・自動化